

年月日	24	11	28	ページ	08	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

太陽光発電15万kW開発

ヤンマーなど 仮想PPA締結

ヤンマーホールディングス（HD）とSMLみらいパートナーズ（東京都千代田区、上田明社長）など3社は27日、バーチャルPPA（電力販売契約）に関する基本合意契約を締結したと発表した。2030年度までにPPAとしては国内最大規模となる出力15万kWの太陽光発電所を開発する。同発電所の再生可能エネルギー由来電力の非化石証書（環境価値）としてヤンマーHDに提供する仕組みを構築する。12月1日に開始する。

ヤンマーHD傘下のヤンマーエネルギーシステム（兵庫県尼崎市）と、SMLみらいパートナーズは、共同出資で発電事業を行う特別目的会社（SPC）を設立済み。ヤンマーHDは、発電に伴い生み出される再生エネルギー由来の電力から、環境価値のみを調達する20年間の契約を結ぶことを達成する見込み。



SPCが運営する太陽光発電所